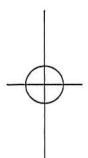



はじめに

前著『英語の正しい発音の仕方(基礎編)』では、ひとつひとつの音に焦点を当て、基本となる発音方法を、発音記号及びイラストを用いて分かりやすく解説した。本書はその続編になる。英語をより自然に話すためには欠かせないリズムとイントネーションが今回のテーマになっている。

発音というと、つい単語に注意が向けられがちであるが、感情を豊かに表現する上で、重要な役割を果たしているリズムとイントネーションの存在を見逃してはならない。しかし、その大切さが分かっていたとしても、適切な素材やテキストに恵まれず、練習する機会があまりなかった、という方(学生、社会人を問わず)が案外多いのではないか。そのような状況に加え、現場の先生方からの要望もあり、続編として本書を執筆した次第である。

本書の作成にあたっては、次の点に注意を払った。

- 
- 
- (1) 英語の強弱リズムおよびイントネーションを体得するために、体の動きを利用した練習を取り入れた。
 - (2) 練習のポイントを説明する際には、専門用語は避け、平易なことばを用いるように心がけた。
 - (3) 使用する語彙はできる限り基本レベルにとどめ、英文の素材は、実際の場面で使えるより実践的なものを選ぶようにした。

なお、練習の際には、是非、別売のCDを活用していただきたい。繰り返し音声を聞き、練習を継続すれば、必ずや良い結果が得られるはずである。本書が、より自然な英語の話し方を身に付ける上で一助となれば幸いである。

最後に、本書を発刊するにあたっていろいろとお世話になった研究社の吉田尚志氏、英文作成に際しご協力いただいた友人の Braven Smillie 氏、また、録音にご協力くださった Chris Wells、Lisle Wilkerson の両氏に感謝の意を表したい。

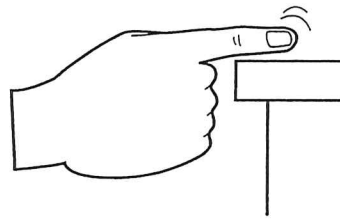
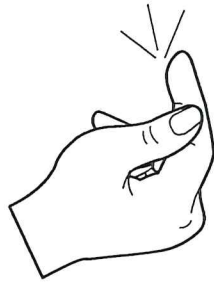
岩村 圭南

体感練習 (1)

□ 練習のポイント 1 □

強弱リズムのポイントは「ストレスのくる語は強く長めに、その他の語は弱く短く発音する」。ここでは、まず、太字の語だけを発音してリズムをつかみ、そのあとで英文全体を音読してみよう。練習の際には、ストレスに合わせて指を鳴らしたり、また、図のように机を人差し指で軽くたたくようにしてリズムを取るといいだろう。

(注) 以下①マークのついている箇所では、「基本的な読み」と「リピート練習用読み」と「より自然な読み」の3通りが録音されている。



● Practice (1) ●

② How's it going?

調子はどう？

① You look great.

元気そうだね。

Say hi to Susan.

スーザンによろしく。

See you later.

じゃあーね。

【発音のアドバイス】

1. How's it は1語のつもりで「ハウズイツ」、going は「ゴーイン」でいい。
2. look は「ルツ」と軽く短く発音する。
3. Say hi は「セハイ」と hi を強調する。
4. later は「レイラー」のように発音する。

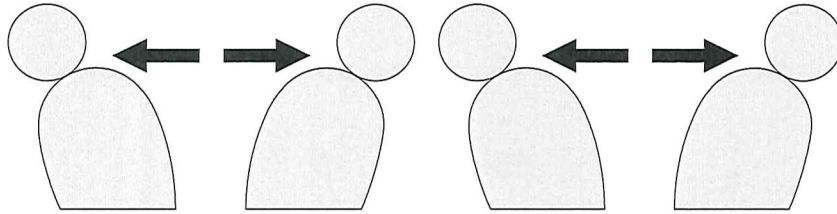
◀ 語句解説 ▶

- (1) How's it going? は How are you? のややくだけた言い方。返事としては Good. や Pretty good. などがよく用いられる。
- (2) Say の後には hi の他に “Hello”, “Thank you” など自分の伝えたいことばを入れればいい。

体感練習 (2)

□ 練習のポイント 2 □

ここでは上半身を使って英語のリズムを感じ取る練習をする。太字の語を強調して発音する際に、それに合わせて体を左右に動かすのである。例えば、下の例では Where で上半身を少し右に、bag で左、left で右、somewhere で再度左へ動かす。この要領で英文を音読しながら全体のリズムを体感する。体は大きく動かす必要はない。リズムが感じ取れればいい。



● Practice (4) ●

⑤ **Where's my bag?**

バッグはどこだ？

① **I left it somewhere.**

どこかに忘れてきたんだ。

Where could it be?

どこだろう？

It's on the train!

電車の中だ！

【発音のアドバイス】

1. 's my は軽く弱く、bag は引き伸ばすように「バエーグ」。
2. left it は1つの語のように「レフティッ」。
3. could it は軽く「クディッ」、be は「ビー」と伸ばす。
4. It's は添えるように「イツ」、on は「オーン」と強調して発音。

◀ 語句解説 ▶

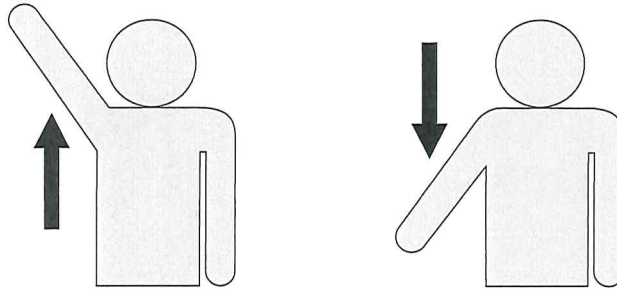
- (1) leave には「去る」の他に「置き忘れる」という意味がある。例えば、「電車の網棚にかばんを置き忘れた」は I left my bag on the rack in the train. という。
- (2) この場合の could は、可能性を表わし「...(どこにあるの)だろうか？」の意味。

体感練習

□ 練習のポイント 1 □

イントネーションを体で感じ取るには、その変化に合わせて腕を上下させるようにするといい。例えば、下の例では already, now で腕を軽く上げ、minute, ready で下げる。また、練習の際には、ただイントネーションを上下させるだけでなく、話者がどのような気持ちで言っているのかを理解した上で、感情を込めて英文を音読するように心がける。

(注) 以下㊦マークのついている箇所では、「基本的な読み」と「リピート練習用読み」の2通りが録音されている。



● Practice (1) ●

⑭ That time already? ↗

㊦ We leave now? ↗

Just one minute. ↘

Then I'll be ready. ↘

もうそんな時間?

今出るの?

ちょっと待って。

すぐ準備できるから。

【発音のアドバイス】

1. already では少し驚いたようにイントネーションを上げる。
2. 相手に質問するつもりで、now でもイントネーションを上げる。
3. 少し早口で Just one minute. 「ジャスワンミニツ」と言う。
4. Then と 'll be は軽く発音する。

◀ 語句解説 ▶

(1) That time already? の前には Is it が省略されている。That と already には「そんな(時間)」、「もう(すでに)」という驚きの気持ちが込められている。

(2) ここでの one minute は、「ちょっと(待ってほしい)」の意。

総合復習

□ 練習のポイント 4 □

まとめとして、これまでに本書で学んできた内容の総復習をする。リズム、イントネーション、ポイントとなる語の強調の仕方、アクセント、音変化について練習を通じて身につけてきたことを再確認するつもりで、次の英文をCDを参考に音読してみよう。英文はひとつのストーリーになっているので、話者の気持ちを理解した上で、感情を込めながら音読するのを忘れずに！

- 27) **Where's my smartphone?** ↘ 僕のスマホはどこかな？
I can't find it. ↘ 見つからない。
Where did I put it? ↘ どこに置いたんだっけ？
I don't remember. ↘ 思い出せないな。

- Where could it be?** ↘ どこだったかな？
I really want it. ↘ 必要なんだよ。
I hope I find it. ↘ 見つかるといいけど。
I want to hear some music. ↘ 音楽が聞きたいんだ。

- I'll look in the kitchen.** ↘ キッチンを見てみよう。
Last time I lost it, ↗ この前なくした時、
it was in the kitchen. ↘ キッチンにあったからね。
Maybe it's there. ↘ たぶんキッチンだろう。

[発音のアドバイス]

1. Where's... 「どこにあるんだろう？」は、探し物をしているつもりで言い始める。
2. find it 「ファインディツ」、put it 「ブリツ」、don't は「ドゥン」と発音する。
3. want it 「ウォニツ」、find it 「ファインディツ」、want to 「ウォナ」とリズムに乗って発音する。
4. Last time 「ラースタイム」、lost it 「ロスティツ」と発音する。
5. kitchen と Maybe を特に強調する。

Part 3 基本のチェック

I **still** can't **find** it. ↘ まだ見つからない。
It's **not** on the **counter**, ↗ カウンターにもないし。
or **in** the **cabinet**, ↗ 戸棚にもない。
or **on** the **chair**. ↘ いすの上にもない。

Wait a **minute**. ↗ 待てよ。
Here it is. ↘ ここだ。
It's in the **freezer**. ↘ 冷蔵庫の中だ。
What a **strange** **place**! ↘ 変なところに置いたな!

The **smartphone's** in the **freezer**. ↘ 冷蔵庫の中にスマホか。
But **where's** my **ice cream**? ↘ ということは、アイスクリームは？
It's in my **backpack**. ↘ バックパックの中だ。
Wet ↗ and **sticky**. ↘ ベトベトだよ。

【発音のアドバイス】

1. can't の [t] は飲み込むように発音する。
2. counter, cabinet, chair のイントネーションは CD を聞いてまねするといひ。
3. 突然思い出したように、Wait a minute. で軽くイントネーションを上げる。
4. Here it is. は「ヒアイリイズ」と言う。strange は特に強調する。
5. The smartphone's ...からは、考え込むようにしてことばを続ける。
6. 最後は、「あーあ」という感じで、Wet でイントネーションを軽く上げ、and は「ン」、sticky で下げる。

★これからの練習へのアドバイス★

本書では特に英語を話す上で忘れてはならない、リズム及びイントネーションを中心に取り上げた。しかし、理屈が理解できたとしても、それが実際の場面で実践できるかどうかは、日ごろの練習にかかっているとよい。これからは、ぜひ、声に出す練習を心がけてほしい。短時間でもかまわない。音読を継続すれば、必ず成果が上がるはずである。

